

新しい議会がスタートしました

市議会議員選挙後初の議会となる第1回臨時会を5月26日に開催し、正副議長、各委員会委員など議会の構成（7・8頁参照）を決定するとともに、委員会提出議案2件、市長提出議案7件を議決しました。

また、第2回定例会を6月8日から7月1日までの24日間の会期で開催し、初日には東日本大震災への対応として、市内の被害状況、被災者（地）への支援内容、今後の災害対応等に関する行政報告を受けました。一般質問は22名の議員が5日間にわたって行い（2～6頁参照）、本会議では委員会提出議案1件、市長提出議案8件の議案を議決しました。



「一般会計補正予算（第1号）」を 賛成多数で可決

平成23年度一般会計補正予算（第1号）は、東日本大震災に伴い編成替えした「平成23年度一般会計予算」に、市民の生命・健康・福祉を守り、事業再精査による財源を確保することを基本として、市民生活や行政運営の維持継続に資する7月以降の事業費等を計上するものです。

その内容は、歳入歳出それぞれ10億3,550万8千円を追加し、その総額を393億6,464万6千円とし、歳入においては、財政調整基金繰入金8億6,100万円等を増額し、歳出においては、民設民営保育所整備関係経費5,550万円、子宮頸がんワクチン接種等関係経費4,661万円、家具転倒防止器具助成事業関係経費5,424万円、道路新設改良関係経費1億9,000万円等を増額し、中学校空調設置工事関係経費2億2,800万円、国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計繰出金9,987万円等を減額するものです。

本案は、8名で構成する補正予算審査特別委員会（高橋りょう子委員長）に付託し、6月24日から3日間にわたり委員会審査を行いました。

委員会での質疑の概要は以下のとおりです。収支均衡型予算と経常収支比率80%台とする財政健全化計画の実現についての質問に、市長より、震災による経済状況等の財政環境の変化はあるものの、経費削減を図り財政健全化の目標達成を引き続き目指すとの答弁がありました。

これに対し委員より、財政調整基金への依存や臨時財政対策債に頼らぬ財政運営を行うには、必要な事業であっても優先順位により歳出削減を図るべきであるとの意見が示されました。

また具体的な事業に関して、敬老会事業の休止決定の検討経緯についての質問に、生きがい推進事業懇談会へのアンケートでは意見が分かれたものの、震災を踏まえて今年度は休止の判断をした。今後は敬老会を地域で高齢者を見守る仕組みに繋がる事業に再構築したいとの答弁がありました。

子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業については、対象者拡大に伴い、接種回数と国の補助期限を踏まえると対象者への詳細な案内が必要であるとの指摘に対し、先行実施市を参考に通知内容を工夫するとの答弁がありました。

本町四丁目臨時自転車駐車場の指定管理者による事件への対応については、内部調査委員会を設置し、調査の上当該指定管理者の今後の扱いを検討するとともに、事実関係を市民に報告するとの説明がありました。

当初予算計上の小・中学校エアコン設置予算の削除については、国及び都の補助を前提としていたが、国の補助が出ないこととなり、補正予算全体の見直しの観点から見送ることとしたとの答弁がありました。

学校給食に使用される野菜の放射能検査を市独自で行う考えはないかとの質問に、食材については、国の検査で安全性が確認されたものを

提供しているとの答弁があり、委員より、国の暫定基準値は出荷停止のラインであり、放射性物質が子どもたちに与える影響に留意してほしいとの意見が示されました。

委員会では、以上のような多くの質疑が行われた後、賛成少数（賛成2、反対3）で否決しました。しかし、7月1日に開催した本会議では、以下の討論を行った後、賛成多数（賛成12、反対11）により可決しました。

（賛成討論の要旨）市民の安全を守り、暮らしを維持するために不可欠な事業が含まれている予算である。また保育園待機児解消事業など市民が待望する事業や市民生活に影響を及ぼす事業が数多く含まれている予算でもある。反対討論の要旨）財源確保のみに視点が置かれ、編成方針である市民の生命・健康・福祉を守る予算とは言い難い。既存事業の更なる見直しや収支均衡型の財政運営を目指す視点を欠く予算である。また事業執行上も様々な問題を含む予算である。

「一般会計補正予算（第2号）」は 全員賛成で可決

平成23年度一般会計補正予算（第2号）は、高齢者を熱中症等から守る緊急対策事業及び東日本大震災避難者支援給付金支給事業の経費を計上するもので、委員会、本会議ともに全員賛成により可決しました。

国分寺市議会議員長

井沢 邦夫



この度、議長の大任をお受けすることとなり、その責任の重大さに身の引締まる思いを持つとともに議会改革及び行財政改革推進への決意を強くしております。今般の東日本大震災では当市でも市民生活に多大な影響が発生しており、震災時及び緊急時対応の課題が明らかとなりました。また懸案の国分寺駅北口再開発、幹線道路整備、ごみ焼却施設、庁舎建設及び介護施設や保育所の増設など緊急課題が山積しております。一方景気低迷と震災の影響による税収の減少も懸念されます。私はこれらの諸課題を解決し将来に亘って安心できる市政の確立には、市民全体の理解と市の早急かつ着実な行政努力が不可欠と考えます。議会としては市民の立場に立って活発な議論や提案を行うとともに、市民の皆様にも市政、議会に対し関心を深めていただけるよう議会の開催方法や広報手段の充実など「開かれた議会」に向け更に改革を進めてまいります。

国分寺市議会副議長

木村 徳



冒頭、東日本大震災にあたり、犠牲になられた方のご冥福と、被災された皆様へ衷心よりお見舞い申し上げます。

この度、改選前に引き続き副議長の大任を仰せつかることとなりました。

現下の国分寺市政は、震災対策は言うまでもなく、今後更に悪化が懸念される極めて厳しい財政状況の中で、国分寺駅北口再開発やごみ焼却施設等をはじめ、多くの重要政策課題を抱えております。

申し上げるまでもなく議会は議論をする場であり、議決機関です。しかしそれらは行政をチェックするための議論であり、チェックの結果としての議決であると強く認識しています。その意味で議会の役割は一層大きなものとなっています。

これまでの副議長の経験を最大限活かし、議会の役割を最大限発揮しつつ、井沢議長共々議会改革を推進し、円滑な議会運営に尽力していくことをお約束し、ご挨拶とさせていただきます。

就任にあたって

市政を問う

平成23年 第2回定例会一般質問
質問事項・答弁の要旨

議員の一般質問の質問事項及び答弁の要旨について、一定のスペース内で様式は自由に各議員がまとめたものを掲載しています。

防災の視点で
顔の見える地域づくりを

国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

問) 防災の視点からも平常時から顔の見える地域づくりの必要性が高まっている。今年度の「地域のひろば」は、防災をテーマにすべき。

市長) 今年度の「地域のひろば」は、昨年話し合いの場から発展し、防災・福祉を中心とした地域の組織作りにつなげていきたい。

福祉保健部長) 今年度は防災・福祉を中心としたテーマを地域の参加者で考える場としたい。

問) 市民が各自に必要な備蓄品を備えることができるように、防災倉庫の備蓄品内容の公開を。

総務部長) 早速そのように整理していきたい。

問) 災害時要援護者の安否確認については、見回り担当者の役割分担や災害時だけでなく日常の見守り活動で、顔の見える地域づくりを。

福祉保健部長) 登録者の名簿情報の整理・更新を含めて、いざという時にすばやく安否確認ができるような取り組みを進めていきたい。

問) 災害時の児童・生徒の引き渡しと地域に取り残された子どもを守るしくみづくりについて。

教育長) 耐震補強がされている学校で、極力児童・生徒を預かるようマニュアルを整備する。

市長) 3.11以降、災害時要援護者の取り組みについては色々と提案をいただいているので、行政としては出来る限りの対応をしていきたい。

問) ①公園の遊具設置等、公園の整備に市民の声を取り入れるべき。②東恋ヶ窪なかよし公園の代替公園の新設と市民参加の計画づくりを。

都市建設部長) 公園の遊具の設置・取り替えや東恋ヶ窪に新設予定の公園については、計画の段階から地域住民の声を反映させていきたい。

問) 障がいのある人の移動支援について、①支援内容について、支援者の解釈による差がないようにわかりやすくまとめるべき。②より豊かな支援のしくみづくりを。

福祉保健部長) 自立支援協議会の中で支援内容の拡充について検討中である。支援内容を整理したイラスト入りのパンフレット等も作る予定。

放射能汚染の調査
及び市民の生活環境！

無会派(みんなの党) いとう 太郎

1) 放射能汚染の調査について

Q) まず東京都が空間放射線の測定を地上18メートルの高さにモニタリングポストを設置していて、通常生活している大気の状態と違うのではないかと疑問をお持ちの方が多数いらっしゃいますが、いかがでしょうか？

A (環境部長) 議員ご指摘の通りです。東京都では、4月と5月に2回地表高1メートルで測定を実施し、5月30日以降は毎日1メートルでの測定を行って、公表しております。

Q) 東京都が多摩地区にモニタリングポストを実施するまで過渡的に市が市内の大気と土壌の測定を行うことを決定したと伺いましたが、詳

細について教えてください。

A (環境部長) 市内3ヶ所で6月17日に実施を予定しています。

Q) どうして3ヶ所なんですか？近隣市では30ヶ所との報道もありますが、市の考え方は？

A (環境部長) 今回の検査結果で判断したい。

Q) 水道水の調査についてはいかがですか？

A) 水道水の40%は東村山浄水所からきていますが、不検出です。残りは北町・東恋ヶ窪の浄水所の地下水です。地下百メートルからくみ上げているので、東京都の見解では水は安全です。

Q) この他、農作物・プールの水・学校給食の食材について質問しました。日々変動していて、質問内容が既に実施されて公表されていますので割愛します。(現状は私のブログまで)

Q) 5月10日に国立駅の北口ロータリーでの人身事故について！国分寺市在住で国立市の私学に通っている児童が横断歩道上で車にひかれ、命を亡くされています。国立市に安全対策を要請していただきたいと思いますがいかがですか。

A) 議員から連絡を頂いてすぐに国立市の担当課長のところに伺い、要請して参りました。

Q) 学校にエアコンの設置を！

A) 震災の影響で、平成24年に延伸致します。

小金井市へのごみ支援は
「ムダづかい」？

無会派(社民党) 釜我 健二

釜我=国分寺市は、ごみ焼却施設がなくなった小金井市の窮状を救うべく、ごみ焼却の一部を当市の施設で行ってきた。近隣住民には交通量増大の危険が、そして市にとっても老朽施設の酷使は炉の寿命にかかわる重大な決断だった。ところが小金井市の新市長は、焼却費として当市などに支払った支出が「ムダづかい」だったと述べている。全力で支援してきた当市としては悲しい気持ちだ。市長はこれをどう受止めたか。

市長=小金井市長に会って、国分寺市としては小金井市支援に努力してきたが、それを「ムダづかい」とはいかなものかと申し上げた。また、当市としては両市の共同処理が前提であること、小金井市議会も共同処理推進の決議をしていること、国分寺市は今後ともそういう方向で進むものと思っていることを伝えた。これに対して小金井市長からは「大変申しわけない」という話をされていた。私としては、正しい理解をされるよう経過を話してきたところだ。

釜我=国分寺市としては、小金井市を信頼し従来の経過を踏まえて取り組む考えなのか。

市長=小金井市を待っている間にも焼却炉は老朽化するので、いつまでもは待てない。東京都を交えて3者協議の中で小金井市の意向を確認し、都の協力ももらいつつよりよい解決策を探していきたい。

今後の焼却炉の延命化の計画は

釜我=小金井市の態度表明がないと当市の延命化工事計画に影響がでる。タイムリミットは。環境部長=老朽化は半分進んでいる。その決定は早いほどよい。強度診断の結果を踏まえて、この秋および今年中には方向性を決定してい

ないと間に合わない。

釜我=9月議会頃には小金井市の方針が示される必要があるということか。

環境部長=9月議会をめぐりに小金井市の結論をもらい、都も入った中で結論を求めていく。

新たな視点かつ実践的な
防災訓練の実施を

公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて(1)帰宅困難者対応：震災当日、450名を受け入れたいずみホールでの課題は？市) 災害時の指定管理者の位置づけ・連携問題は、指揮系統関係などを整理・協定書に明文化する必要あり。マニュアルや女性職員の配置の必要性も認識。さの) 部屋割りなど女性の視点が重要。トイレ問題など、近隣商店街や商業施設との連携は。市) 市内の商店街・商工会、JR、鉄道各社と調整していきたい。(2)避難所について：要援護者の居場所となる福祉避難所の協定の進捗度は。市) 地域防災計画、危機管理の点からも前向きにすすめていきたい。さの) 今年度の市の総合防災訓練は各地域防災センターにおいて初動要員と学校関係者と自治会の顔合わせをするべき。今年度の訓練は従来より視点を変え、より実践的にする必要があり。市) メイン会場以外でも、少し仕掛けをしてみたい。(3)共助の考え方：市民防災推進委員の力をお借りする必要がある。地域のひろばの話し合いから学校区域内一体となった防災訓練を行なうに至ることが理想的である。

2. 一時保育について：現在の一時保育事業に利用者から「使い勝手の良い制度に」との声がある。枠を増やしていくなどの検討を。市) 緊急一時保育については、地域の中で受け入れられるような検討を開始。一時保育の枠も若干広げられる可能性あり。在宅の子育てに関して、非常に有効な制度のため検討していきたい。

3. 環境問題について：学校での環境家計簿の取り組み状況は。市) 既に小中学校10校で実施開始。グラフ化など「見える化」を実施していきたい。さの) 節電対策について、西国分寺駅北口駐輪場でのLED導入の成果は。市) 蛍光灯に比べLEDの電気使用量は約半分という結果。さの) 費用対効果を検証し、新設の街灯・公共施設へのLED導入を提案する。市長) 設備の更新、新設する時に検討してまいりたい。

教科書採択は
子ども達の大切な未来のために

自民党新政クラブ 楠井 まこと

教科書採択について・・・今年は中学校教科書採択の年にあたり、教育基本法や国分寺市の教育目標にも明記されている愛国心・愛郷心を育てる取り組みについて質問し、武蔵国分寺、惑星探査船はやぶさの父、糸川博士の偉業、新幹線ひかり等を通して子ども達がより一層国分寺

寺を日本を愛せる取り組みの推進を求めました。

都市型震災対策について・・・想定される首都直下型震災に対し、市の被害想定と対策について質問し、クラッシュ症候群対策、災害時要救助者登録制度の一層の周知を求めました。

光町の新幹線の活用について・・・貴重な観光資源である光町の新幹線を、鉄道好きな方々を中心としたイベント等で地域振興の一助と出来ないか提案しました。市長からは、市民の皆様の御協力で大切にされている新幹線をもっと周知し、地域振興に役立てる大変興味深い提案である旨の回答がありました。

待機児童及び新設保育園について・・・市内待機児童の現状と地域格差について質問し、西部地域の保育園不足解消に向け、西町、高木町、富士本3園の新設計画と平成26年までに解消できるような努力していくとの回答がありました。

弁天通り周辺の交通量増加対策について・・・中央線高架化後、弁天通りの交通量増加に対する意識の有無と、市民の皆様からのご意見も多い西町5丁目交差点の渋滞対策について質問し、行政からは現状増加したと言う認識はないが、下半期に行われる交通量調査の結果を踏まえて安全対策、交差点対策に取り組んでゆく旨の回答がありました。

他にも稲荷神社一三中入口間のバス停新設についてや、特定健康診断の他市との相互利用について質問しました。

行政改革

税金のムダ使い削減（人件費）

無党派（みんなの党）

おざわ 脩

1. 市の職員給与削減について

問 人事給与制度の見直しの中で目標期日を過ぎても達成できていない部分の進捗状況について教えてください。

答 一定の期日を目指して交渉してきたが、職員団体との交渉が現在も合意に至っていない状況。

問 国家公務員給与10%削減の動きを踏まえ、地方公務員である市の人件費削減についての考えは？

答 東京都、26市と連携し対応していく必要がある。

市長 財政健全化に向けて、総人件費の削減を進め、積み残した課題の交渉に取り組んでいく。

2. 議員報酬3割削減

尾澤 現在、国分寺市は行政改革を本気で取り組んでいかなければならないと考えます。議員自ら率先して行政改革していく意志を市民の皆様様に御示しさせて頂く意味で議員報酬の3割の削減を本会議にて提案させていただきました。

3. 保育園、小中学校の危機管理について

問 保育園、小中学校で児童を預かる引率職員に相応しい救命救急の知識と技術を身につけて欲しい。全ての引率職員の方に今まで以上の内容の講習を受けて頂くことを義務化して欲しい。

教育長の答 全員が救命救急の技術を身につけ、子どもの命を安全に管理できるように進めてまいりたいと思います。

子ども福祉部長の答 今やっている研修について、さらにしっかり受けて頂けるような体制を作りたい。

4. 昔の井戸について

問 昨年度から壊れている井戸の修繕が長期間にわたって遅れている理由は？

答 井戸の必要性は認識していたが、予算の

問題と震災対応により遅れてしまった。

市民のための行政運営を

自民党新政クラブ

本橋 たくみ

1 新庁舎建て替え問題～（本橋）市民サービス向上の観点、防災上の観点、業務効率の観点から、新庁舎の計画を強く求める。（市）後期計画の中で建設の可能性について検討していく。

2 行財政改革～（本橋）他の自治体ではアウトカム理論や事務事業評価が導入されている。国分寺ではどうか。（市）事務事業評価については、17年度から本格実施している。こういった取り組みを充実させていく。

3 ゴミ処理問題、有料化について～（本橋）焼却炉の耐用年数がせまり、財政上、可燃ゴミの減量の上でも有料化が必要であると考えがどうか。（市）有料化については、まだ実施時期等も決まっていない。いろいろ減量施策を進める中で検討していく。

4 防災対策～（本橋）市内在住の職員数が3割台という中で、夜間や祝日に発災した場合に対応できない可能性があると思うがどうか。（市）一定の対応を図るようにしたい。（本橋）防災上の観点から自治会加入率向上もお願いしたい。

5 福祉政策～（本橋）ここねっとというのが地域の縦のつながりと横のつながりをつくる上で重要な政策だと認識しているが、今後どのように発展させるのか。（市）福祉との連携を努めながら、ここねっとを推進していきたい。

6 都道328号線、346号線～（本橋）防災上インフラの整備、道路の重要性という認識が非常に高まってきている。早期着工、早期実現をお願いしたい。

7 節電による夜間照明の利用について～（本橋）これからも利用団体と協議をしながら、利用の確保をお願いしたい。

大災害から市民や職員を守る行政の体制を！

自民党新政クラブ

田中 政義

1. 東日本大震災に対する取り組みについて

問 市が取り組んだ被災地への撤去自転車の搬送事業は大変有意義なものであったと思う。今後は続けていかないか？

市長 被災地からの要求に対し、積極的に取り組んでいく。相手方のニーズを伺って対応することが大事な事だと考える。

問 国分寺市が直接的な被害を被るような災害が起きた時、一部の職員に大きな負担がかかるような今の市の体制では市民の安心・安全や、職員の健康が守られるのか疑問が残る。災害時における業務のさらなる分担、人員の確保についてどのように考えるか？

総務部長 今回の対応については、くらしの安全課が中心となって災害対策本部を運営し、また先頭に立って一線を担っている。その事から職員の負担が一時かなり増加したこともある。人的な配置も含めて乗り切っているが、もしも当市で大きな災害が起きた時はとても対応できる状態ではない。今回の教訓を生かしていく。

市長 本部班の仕事の体制、その他の班の体制そして市民の方々にお願いする部分や計画の見直し等、しっかりとチェックしていく事が大事

なことだと考える。

2. ぶんバス北町ルートについて

問 ルートを自分の中で考えていく中で、鷹の台駅へ回せないかと考えた。どうしても今のぶんバスの規定では厳しい壁に当たってしまう。枠組みにとらわれず、福祉の面からも柔軟に対応して欲しい。

都市建設部長 地域公共交通会議の議論とか、共同運行になると小平市との協議になる。まずは小平市の意向を伺っていきたい。

田中 今回の質問ではほとんどの議員から震災に対する質問が上がった。今後の対応についてしっかり求めていきたい。この他328号線、商業振興、市有地の活用について質問した。

災害時の安全対策整備で

市民生活に安心を！

公明党

高橋 りょう子

1. 高橋) 3.11発災直後民生委員の安否確認実施を高く評価。要援護者リスト更新等に課題が。

市 対象者基準、名簿の確実性等精査に努める。

高橋 避難場所での張り紙等、視覚障がい者には認識困難。誘導やバックアップ体制整備を。

市 確実な支援・情報提供・仕組み等検討する。

高橋 地域内に避難場所が無い、指定された場所への距離・交通量など高齢者から不安の声がある。

市 近隣市や私立学校等とも協議し検討したい。

高橋 自治会の無い地域から震災時は近隣の支えあい、コミュニティの必要性に期待が。

市 地域の特性を活かし協議、検討したい。

高橋 「緊急時医療情報キット」導入の進捗は。

市 形態も含め、実施に向け進めている。

2. 高橋) 放射能に対する国の基準が出ない中、不安の声が寄せられている。国や都に測定の緊急要望を出し市民の「安全・安心」確保を望む。

市 市長会を通じ放射線測定の要望を行った。

高橋 学校給食の食材、停電の影響は無いか。

市 出荷制限されていない物を調達し、通常より洗浄・皮むきを強化している。中学校給食委託業者に企業節電依頼があり、対応に苦慮。

高橋 食材の安全管理には万全の体制強化を。

3. 高橋) この夏導入予定の中学校冷房設置が震災の影響で困難との報告。猛暑は待ったなし！代替の暑さ対策で教育環境の整備を。

市 ミスト・移動式散水機等水の活用を検討。

4. 高橋) 市民の健康を成す食育推進計画策定は。

市 来年1月までに方向性を整理する。

5. 高橋) 「北町ぶんバス」は住民の長年の悲願。既存バスルート延伸の土地確保、進捗状況は。

市 バス事業者と協議を進めているところ。

高橋 「ぶんバス」定義は福祉目的と交通不便解消との市長方針。その責任ある対応を強く求める。



国分寺線立体交差への反対は 人命救助の妨げ

自民党新政クラブ

新海 栄一

新海) 普段はうるさいと言われることもある防災行政無線ですが、今回の計画停電等の放送では聞こえないという苦情が多かったようです。現状の確認と今後の対策について報告を。

総務部長) 19年には全域をカバーしていたが、大型の建物等が多くなり聞きにくい場所が発生している。パワーを上げる、角度の変更、マイクの増設等、検討し早急に対応を図りたい。

新海) 電力が不足してくる夏の停電の可能性は。

総務部長) 東京電力より15%削減ができない時は計画停電を復活するという連絡がきている。

新海) 前回の時も市役所の事務に支障をきたしたが、発電機等の準備はしているのか。

総務部長) 影響を最小限にするため発電機の配備等、あらゆる対応策を講じていきたい。

新海) 本多4丁目、5丁目境の駅前通りは車の通行量も多くカーブもあり、自転車や人の通行に大変危険な状態です。歩道設置の可能性は。

都市建設部長) 現地を詳しく見たところ、駐車場や空き地、セットバックしたビルもあるが、道幅を広げての歩道設置はなかなか難しい。

新海) 3月11日の大地震発生後、346号線西武国分寺線踏切で大渋滞が発生し、緊急車両が通れなくなった。人命救助のためにも早急な立体交差が必要であるが、現在の進捗状況は。

都市建設部長) 東京都と覚書を結び事業を進めている。用地買収も残り1%で早急に進めたい。

新海) イトーヨーカドー跡地の現状は。

市民生活部長) 6月24日にドイツ恋ヶ窪店としてオープン予定。東日本大地震で被災した取引先約150社の商品を取り扱う他、震災で閉鎖中の仙台市若林店の従業員希望者を移動予定。

新海) 生鮮3品の扱い、ならびに地域雇用の確保についての申し入れはしているか。

市民生活部長) 5月16日に市長名で、生鮮3品及び日用品、地場産農畜産物の取り扱い、地域の雇用確保をお願いしている。

BCPを策定し とまらない市民サービスを！

公明党

なおの 克

●学校の震災対応について

問) 学校毎に対応が異なっており、保護者が迎えに来るまで責任を持って児童を預かり、対応方法を統一した方が良いのではないかと。

教育長) なるべく学校でお預かりをして、全市的に同じマニュアルを今後作成していきたい。

●家具転倒防止器具等助成事業について

問) 市民の命を守る重要な施策なので、申請される全ての市民世帯に対して支給すべき。

総務部長) 市長会をお願いをしていくというような形で対応を図らせて頂きたい。

●庁舎基幹系システムについて

問) 計画停電の都度、ホームページや住民情報等、市民サービスが利用できなくなった。データセンターの活用、ASP化に向けて早急に取り組むべきだ。

政策部長) システムの効率的な運用を目指し、推進していきたい。

問) 全庁的な業務継続計画(BCP)はできる限り早く検討すべきであると考えがいかがか？

政策部長) 業務継続計画は必要であるので、関係部署と協議をしていきたい。

問) 事業者の選定方法について、1社による特命随意契約から脱却し、できる限り競争原理を働かせたらいかか？

政策部長) 開発体制の明確化及び調達手順、書類等の標準化、明確化を推進して、競争性の働く手法で選定をしていきたい。

●ぶんバスについて

問) 市民の声をもっと幅広く、積極的に伺い、満足度を高め、サービスを充実させるべき。

都市建設部長) 市民の意見を聞きながら、なるべく満足度の高いものに変えていきたい。

●連雀通りの安全対策について

問) 連雀通り三小前交差点の隅切りの整備は？

都市建設部長) 警察と協議をしながら、何らかのことを考えていきたい。

市が決めたルールは しっかり守ってください

政策民主会議国分寺

及川 妙子

1. これまでに質問したことの確認

(1) 総務省情報通信政策研究所の福利厚生施設についてのその後=テニスコートは日曜日にも借りられることになっていたが？→進展なし。

(2) 大型集合住宅でのペットボトルの回収についてのその後？→30件のうち半数は改善を図った。<市が決めたルールは市が守るように>

(3) 小・中学校のエアコン設置について=見送りになったが、暑さ対策は柔軟にしてほしい。

2. 学校関係

(1) 緊急連絡網に関連して=各学校のホームページを活用して連絡事項を知らせることはできないのか？→総合情報課を通してホームページの内容を更新することになっているので現在は難しいが、活用の仕方について今後考えたい。

(2) スクールゾーンについて=車両通行禁止時間帯が7時半から8時半、9時、9時半と分かれているが？→地域の皆さんが警察に要望すれば時間帯も指定地域も変更できる。

(3) 指導力不足の先生について=平成19年度全国で450人、東京都で13人認定されているが本市では今までのいたか？→いない。

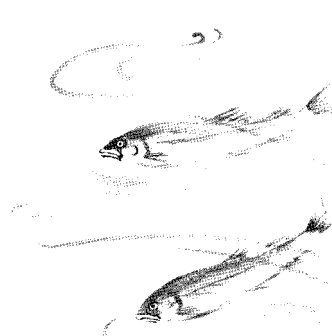
相談があった時の対応は？→集中的に授業観察をして校内において研修する。

3. 自転車の違法駐車について=西国分寺駅南口ガード下には点字ブロックがあるが自転車にさえぎられて通行に支障がある。たばこのポイ捨て禁止地区の見回りは夕方やっている。場所がほとんど重なっているため両方できないか？→調整できればそういう方向で検討してみたい。

4. シルバー交番について= (略)

5. 国分寺駅北口再開発事業について=震災以後高層マンションは売れなくなっているが事業の見直しは？→現状では落ちついてきている。

6. 防災計画について=立川断層帯の地震の発生確率は全国でも高い。防災計画を一日でも早く見直して備えていただきたい。



安心の災害対策確立のため 財政健全化を急げ

公明党

木島 たかし

1・災害対策と地域防災計画の見直しについて
木島) 計画停電等で「聞き取りにくい」との声の多かった防災行政無線を補うために、電話での「音声自動応答サービス」の導入を。

総務部長) 情報収集している。検討したい。

木島) 災害時要援護者登録制度について周知が不十分と思われる。災害弱者を守る姿勢を。

総務部長) より丁寧な説明が必要だと認識。

木島) 小中学校のガラス飛散防止対策を急げ。

教育次長) 壁等に固定されているガラスは現在15校中7校が対応済み。できる限り対応したい。

木島) 災害時に避難場所になる小中学校にあって、教職員が果たす役割は大きい。市の初動要員との役割分担を明確にすべき。

総務部長) この度の大震災で教訓となっている事項。教育委員会と協議していきたい。

木島) 業務継続計画(BCP)は災害時に救援復旧や日常業務の中で優先すべき業務をあらかじめ決めておき、より速やかに公助の部分を実行する計画だ。策定を急げ。

総務部長) 重要なご意見。その考え方に沿った見直しが必要だと感じている。

2・今後の財政運営について

木島) 大震災を踏まえ市政運営能力が問われる時だ。収支均衡型の財政は達成すべき。

市長) 状況の把握に努めつつ、財政の健全化を一層進めていきたい。

3・地域福祉(地域包括支援センターの区域割)

木島) 本町、本多地域の方がより身近な場所でサービスを受けられるよう検討を求め。

福祉保健部長) 第5期介護保険事業計画の策定準備を進める中で見直しを含めて検討する。

4・泉町に移転予定の都立多摩図書館について

木島) 市民からは期待の声が大きいと感じている。市(教育委員会)として明確な考え方をもって都に意見を伝えるべき。

教育長) 意見を集約し都に要望していく。

保育のあり方の検討に 市民参加を求める

日本共産党国分寺市議団

岡部 宏章

<保育「全体計画(案)」について>

問) 案では民設民営または廃止の時期まで、それぞれの保育園について設定をしているが。

子ども福祉部長) 待機児の状況と、保育所の数が地域の中でどうあるべきかという議論の中で、定期的な検証や見直しを行なう。

問) 現在6園ある公設公営保育所が、計画のように1園のみとなると、市が保育に対して果たす公的責任は明らかに後退する。公設公営保育所がそれぞれ皆、直営の園として地域で重要な公的責任を果たしている。

子ども福祉部長) 民設民営になっても公的責任が果たせるようにするのが市としての使命。そのことを担保するためのシステムとその検証が重要。ひかり保育園のように公設民営化していく場合には良い事業者を選定することが大事。

問) 保護者の反対の強い、ひかり保育園の公設民営化は慎重であるべきだ。

市長) 平成21年の市長選で私は、公立の保育園

次ページに続く ↓

は順次民設民営化していくべきだという公約を掲げて市民の皆さんに問うた。第四次長期総合計画にも保育園あるいは学童保育所等は民間に委託していくと書いている。

問：いちばんの当事者である保護者が圧倒的多数で民営化には同意をしていない中では、市民参加のもとで進められているということにはならない。自治基本条例に則り検討すべき。

＜公共調達条例について＞

問：現在の準備状況はどうなっているのか、いつ議会で提出するのか。

総務部長：まだ、今回の震災の影響もあり総合的な評価の考え方、あるいは周知の問題、2つが大きな課題になっている。震災の対応も含めてもう少しお時間をいただきたい。

※この他、住宅の耐震改修、リフォーム、太陽光パネル設置のそれぞれの助成制度について質問しました。

早急に求められる 災害に強いまちづくり

日本共産党国分寺市議団 中山 こう

《防災計画の見直しについて》

問：公衆電話の設置など、災害時、必要最低限の連絡手段を市が確保する必要があるのでは。

総務部長：市民の皆さんに使えるような形で…情報が伝達できる方法を考えるのが市の責務。

問：防災まちづくり推進地区の指定がすすむように要件を検討してはどうか。

総務部長：よりよい形での推進地区をつくる、そういう方向を目指して今、調整中。

*防災倉庫が不足している地域には倉庫の設置を早急に。

問：国分寺駅北口再開発で高層マンションを設置する計画ですが、今回の震災で高層マンションの課題について検証するべきでは。

総務部長：既存の高層マンションについては検証が必要。新たな高層マンションには地震対策の最低限の設備が取り入れられている。

*東海、東南海、南海の連動地震、立川断層の危険性も報道されている。新たなマンションについても検証するべきだ。国分寺駅北口は早急な整備が必要。しかし、高層マンションを建設する現計画は抜本的に見直し、権利者への対応と道路と駅前広場の整備を中心として、予算を最小限に抑えて整備を早急に行うべき。

《高齢者福祉について》

問：「一人暮らし世帯の安否確認と緊急通報システムの新設・普及を求める陳情」が採択されていますが、その具体策は。

福祉保健部長：今回の震災では、それぞれの担当課で把握している方など、いろいろな方の見守りの活動をしている。

*抜本的に見守り安否確認体制が広がるような具体的な検討を求めた。

《安心安全なまちづくりについて》

*第2庁舎スロープへの手すり設置と西国分寺駅改修工事ともなう安全対策を求めた。

被災地へ、全国から 早急に長期的な支援を

日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸) 被災地支援について、宮城県でボランティアをしてきたが、全然足りていない。市としてボランティアバスや作業セットの貸出など、これまでにない取り組みで、行きやすい条件を整備してほしい。

部長) 社会福祉協議会と相談して対応をはかる。

幸) 職員や市民、事業者など市全体で被災地を支える仕組みとして、自治体間で災害援助協定を結び、迅速で無駄のない効果的な支援を。

市長) 早急にそういった支援をしていくことが大事だと思う。

幸) この枠組み、先進的な事例をつくれれば、それが全国に拡がり、逆に東海地震や立川断層地震、といったときに市に返ってくることになる、こういう位置づけで取り組むべきだ。

避難者支援について、東京電力の社宅を提供する予定だが、災害救助法の「避難所」として指定して、食費や生活必需品の支給を。

部長) 現時点で26市の中で食事代まで出しているところはない。対応の一本化が必要。都の説明会での情報収集に努める。

幸) 今、避難者を受け入れている自治体が声をあげていくことが大事。併せて民間の賃貸住宅の費用についても支給を求める。心を一つに被災地・被災者を支える仕組みを求める。

放射能測定について、なぜ3か所だけで1回だけしか測定しないのか、またプールについても測定しないのか。

市長) 第一義的責任は国にある。責任逃れするつもりはないが、市民の不安を払しょくするために念のため測定させていただいた。

教育長) 今のところ市独自でやるのは難しい。

幸) 放射能とは5年10年と付き合わなければならないことも踏まえて体制を求める。

*職員削減や民間委託で復興や支援などの行政能力が弱まっていることを指摘しました。

放射線に対する 市民の不安に寄り添う対応を

国分寺・生活者ネットワーク 高瀬かおる

問) 東日本大震災が発生し、多くの尊い命が一瞬にして奪われ、今も収束をみない福島原発の事故が災害からの復興を大きく遅らせている。国分寺市では市内3か所での空間、土壌の放射線の測定を実施するが、特に子どもの通う施設を優先に、広く継続した検査を求める。雨の多い季節だけに、土壌調査を特にお願いしたい。

答) 市内3か所の測定結果を受けて、専門家の方々の意見をきいて今後の対応を図っていく。

問) 内部被ばくをできる限り避けるためにも市独自で水の調査をしてほしい。特に真姿の池湧水は多くの方が水をくみにこられている。また、窪東公園の水遊びの川では、子どもたちが遊ぶ姿をよく見かける。早急に検査を求める。

答) 水については別途検討させていただきたい。

問) 野菜の検査は当然だが、農地の土壌検査を求める。国分寺産野菜を安心して食べ続けるためにも、内部被ばくの未然防止の観点からも、農地の状態を知ることが国分寺の農業への信頼にもつながると考える。

答) 専門家と相談し対応を図っていく。市内農

産物の放射能汚染を避けるための生産・出荷管理の注意事項を市内全農家に配布している。また、市民に向けては、消費者庁の「食品と放射能Q&A」を市のHPから閲覧できるようにした。

問) 保育園や学校の給食食材への対応は？

答) 産地公開について、事前の公開は難しいが事後なら可能。よく洗う、皮を厚くむくなど調理法には注意している。

問) 子どもや保護者の不安解消のためにも、市の対応を伝え、水筒や弁当持参の要望があった時には、丁寧に話し合いをすすめてほしい。

問) 泉町に移転する多摩都立図書館について市民や地域図書館からの意見を反映させてほしい。

答) なるべく早くまとめて都に伝えたい。

問) 猫に関する相談会を開催してほしい。

答) ぜひ開催する方向ですすすめていきたい。

市民の抱える 今と未来の不安解消は急務だ

政策民主会議国分寺 三葛 敦志

■ 1. 災害への現実的な備え ■

①被災地の現実から

Q. 石巻市でのボランティア活動を通じ地震・津波の恐ろしさを感じた。市としての支援は？

A. 縁あって多賀城市を支援。

Q. 訪問した会津若松市では、原発への不安から観光客が激減。市でも放射能測定を充実し、測定器のP T A等の市民への貸出しを。

A. 都からの貸し出し機器は1台。調整する。

②「職員の3割のみ市内在住」を災害に備え改善するため、地域手当のあり方を見直せ。

A. 他市動向を見るまでもなく見直しも検討。

③災害時に備え市境を越える避難訓練は？

A. 行っていない。隣接市と協議したい。

④災害時の廃屋倒壊は緊急車両の妨げ。廃屋でも固定資産税が減免される制度は改善を。

A. 悲しい事実。確認したい。

■ 2. 震災後の市財政 ■

①税収見込みと財政フレームの今後を示せ。

A. 財政フレームは、年明けには示す。

②施策・事業の見直し

Q. 高層への不安・立川断層のリスクから再開発の高層マンションの売れ行きは厳しい。

A. 解消に向かうと大手不動産会社社長もコメント。(売るためそう言うのは当たり前！)

Q. この夏、電力不足で焼却炉の運転が制限される。可燃ごみの有料化を急げ。

A. 減量は急務。検討をスピードアップする。

■ 3. 5月に国立駅北口のロータリーで起きた市内在住の児童の死亡事故について。

A. 警察が捜査中。市としても対応したい。

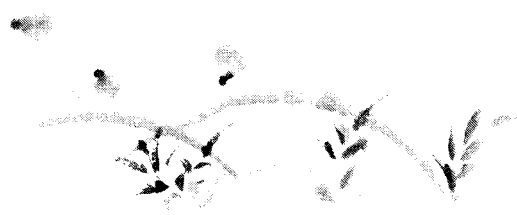
Q. 小中学生の3割は市外の学校。安全対策を。

A. 教育委員会関与なし。保護者の組織もない。

■ 4. 組織再編の検討を ■

Q. 子ども「福祉」部と福祉に限定せず、「子ども部」等、子どもを軸に市の組織再編を。

A. 未整理の課題も含め考える。



社会的弱者に配慮した 地域防災計画に

政策民主会議国分寺 皆川 りうこ

BuildingBackBetter (ビルディングバックベター) 復興に使われるキーワード。社会的属性等に基づく不平等や差別をも元通りにしない社会に。個別・適時・優先的・多様性の視点で見直しを問) 震災復興では一斉、公平、画一が優先されるが、本来のニーズに沿った対応もすべき。地域防災計画、行動マニュアルの見直しにあたり、現場従事者等からきめ細やかに聞き取りをせよ。答) 子ども、障害者、高齢者、妊婦、女性など災害弱者の方を意識した視点で見直しを進める。「支援」を受け入れる「受援力」

問) 困ったときは助けて、と発信できる環境を。市長) 被災された方は我慢強くより配慮が必要。危機管理意識の問題、市の指導・監督責任

問) 特定規模電気事業者制度 (PPS) の活用を。答) 課題もあるが、検討したい。

問) 緊急時マニュアルが未整備の部署理由は? 答) 定かでない。申し訳ない早急に製作させる。

問) ①民間介護保険事業者で、行動マニュアルが無いところあり。市の監督責任で作成指導せよ②学童、ファミリーサポートの実態把握は? 答) ①事業者連絡会等を通して、市の責任において取り組む②課題はある。見直し、実施したい。

市政運営の基本方針で示す財政健全化の意味は問) 震災後は国の補助金削減が想定される。再開発事業も同様かも。大胆な判断、決定を視野に入れることも必要だ。その点の財政再建か。市長) 4月1日に庁議で示した方針だ。更なる事業の見直し、行革、財政の柔軟性、基金等の蓄えなど必要と私や財政当局が述べている事だ。

都立図書館移転に際し市図書館機能を有すよう問) 立川の機能移転に留まらず、公共施設としての役割を十分に発揮するよう都に求めよ。答) 詳細未定、利用者の声を聞く事と期待する。

信頼される人事管理「公正、透明、納得性」問) 外部団体に再就職したOBの公表を進めよ。答) 重要な指摘だ。研究課題として取り組む。

「子どもの権利」 かみ合わない市長との議論

国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) 社会状況の変遷や大人の視点を優先した開発がすすむ中で、大人の干渉を受けず子どもだけで活動する場や機会は大幅に縮小され、質量ともに日常生活における体験や経験は減っている。このことは日本の子どもの成長発達において重大で深刻な影響を及ぼしている。それを解決していくために、当の子どもや親にばかり問題を押しつけるのではなく、自治体全体で子どもの権利を共有し保障していくことが不可欠であると、「子どもの権利条例」制定が進められてきたと私は理解している。条例制定の意義について、キーワードは二つ。ひとつは「子ども観の再構築」、もう一つは「子どもの最善の利益」。大人と子どもでは、物事の価値観が大きく変わってくる。大人の社会が子どもに良かれと思うことが、逆に子どもの伸び行く力を阻害することもある。何が違うのか、何がズレているのか、みんなで考えることが大事。その基礎基本の観点をこそ共有し、本当の意味で子どもたちの育ちを応援できる条例を、ぜひとも御提

案していただきたいと思うが、市長、いかがか。市長) かつて提案した権利条例の条文にある「誠実に受けとめる」こと、それはそれとして大事なことであるが、一方で親として主張すべきは主張する。子どもはそういった親とのぶつかり合いの中で1つの人格を形成し、正常な人間に育っていくと私は思う。わがままはわがままとして、しっかり親は指摘しなければいけないとの考え方を持っている

問) どういう視点で、子どもの主張や行動をとらえていくのか、それが大事。自分の意に沿わない、自分とは違う言動に対して、大人は安易に「わがまま」だと決めつけていないか。「子どもの最善の利益」は画一的なものではなく、個々の特性や取り巻く環境によって異なってくる。市長とも引き続き議論しながら、議会全体でしっかりと考え、共有していきたい。

来年度すら見通せない 財政は危険水域だ

無会派(無所属) 甲斐 よしと

さきの震災は日本のそして世界のパラダイムの転換期であると言われている。国政においても市政においても、真に持続可能な社会像を模索しなければならない。2月の代表質問にて当初予算案では財政調整基金(使い途自由な貯金)が4年前は32億あったのに1億7000万に激減だと最初に指摘し、このままの予算編成のやり方では翌年度すら組めないと問い質した。市長は『非常に厳しい。議員のおっしゃった不測の事態が生じた時、そういうことが懸念されると今後も慎重な財政運営に努めていかなければいけない』と来年以降の為に今、削減せねばならないはずなのに、極めて軽い答弁だった。まさに震災という不測の事態が起こり、骨格的な予算に修正がなされ、緊急時ということでも可決した。しかし6月補正予算によって、ほぼ2月当初予算案に戻ってしまう様相だ。『予算計上事業についてもより厳格な進行管理を実施する』と言ったにも関わらずだ。改めて、このままのやり方では来年度予算は組めない。だから臨時財政対策債を借りて済ましてはいけないと質す。答弁) 基本的には借りない方針で臨んでいきたいと現時点では考えております。

甲斐) なぜ今、借りられないかは市長、幹部の計画に原因がある。今後、北口再開発で121億のうち82億借金+床購入21億+aで100億以上の借金で多摩の借金1位の予定だ。だから家庭で言えば日々の暮らしの赤字を借金で埋めるようなことは今、慎むべきだと警鐘を鳴らした。なぜ財政危機宣言を発令しないのか? 2月には自民党からも財政危機宣言の必要性は問われた。宣言しない理由は、宣言などしたら、北口再開発の総事業費を500億円台に膨張させたことで市長への批判、民間経営の視点を訴え10年も市長をやったこの有り様かとの市民からの批判を恐れた自己保身によりなせる業だと糾弾した。



危機管理能力の欠如が露呈! 早急な改善を!

政策民主会議国分寺 木村 徳

冒頭、東日本大震災で犠牲になられた方のご冥福と被災された方へお見舞い申し上げます。※質問に先立ち、改選後、行政側による議会側への情報を提供しない方向への動きに警鐘を鳴らし、改善を強く求めました。

木村=災害対策本部での取り組みで、震災翌日昼過ぎには市長により事実上の終息宣言がなされていたこと等は市民には知らされていない。副議長の立場でオブザーバー参加し、帰宅困難者対応で駅前施設の開放等を求めようやく実現する等、行政任せの災害対策には問題が多い。市長=対応できなかった部分もあり、その一旦の指摘だと思う。今後、災害対策本部への議会の位置づけを検討する。(併せて、震災直後に与えた有給休暇を時期を変更することもしない等、危機管理意識の問題も指摘をしました)

木村=被災地へ防災備蓄品を提供しているが、3カ月経っても補充がなされていない。その為の予算の確保も3月にしたはずだ。

総務部長=指摘の通りだ。早急に元の備蓄体制に戻していく。

木村=節電対策でノー残業デーを従前の水曜に加えて金曜も実施するとのことだが、月・火・木は節電しなくてよいということではない。全日残業禁止にし、必要な場合は朝に行うべきだ。

総務部長=その方向で進める(その後、7月より全日残業禁止が実現しました)

木村=新しい都市開発部長(=北口再開発の担当)が4月に東京都から課長職で国分寺市に着任、わずか1カ月で部長に昇進させた。市長在職10年の中では内部の人材育成ができなかったことが明らかになった。また都は課長職の人材を出してきたのに1ヶ月で部長に昇進させたのは、市長による人事権の濫用にも等しく問題だ。(この件は時間の関係で指摘に留めましたが、このような人事で今後の北口再開発が良い方向になるとは考えられません)

陳情の審査結果

第2回定例会には陳情7件が提出され、委員会に付託した後審査し、継続7件となりました。

継続となった陳情(付託先)

陳情第23-2号 「ぶんバス東元町ルートの増便及び時間延長を求める陳情」(建設環境委員会)

陳情第23-3号 「リフォーム助成制度の創設を求める陳情」(総務委員会)

陳情第23-4号 「米軍普天間飛行場移設に関する日米共同声明の再考を求める意見書を日本政府に提出することを求める陳情」(総務委員会)

陳情第23-5号 「庁舎建設基金の設置を求める陳情」(総務委員会)

陳情第23-6号 「都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情」(総務委員会)

陳情第23-7号 「災害時の緊急食料として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情」(総務委員会)

陳情第23-8号 「地方消費者行政を充実させるため地方消費者行政に対する国による実効的支援を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情」(総務委員会)

第1回臨時会議案審議結果

第1回臨時会には新規9件の議案が提出され、承認5件、可決3件、同意1件となりました。

議案番号	議案名	議案の要旨	結果
委員会提出議案第1号	国分寺駅周辺整備特別委員会の設置について	国分寺駅周辺市街地の再開発整備等に関し、特別委員会を設置し調査及び対策を図る。	全員賛成・可決
委員会提出議案第2号	ごみ対策特別委員会の設置について	ごみの減量、リサイクル及び清掃施設等のごみ問題に関し、特別委員会を設置し調査及び対策を図る。	〃
第39号	専決処分について	平成22年度で老人保健（医療）特別会計廃止に伴う精算としての繰入れと、国分寺市防災行政無線（地域系支局）修繕事業及び史跡武蔵国分寺跡（僧寺地区）整備工事基本設計委託事業において繰越明許費の設定が必要になったため。	全員賛成・承認
第40号	専決処分について	平成22年度で国分寺市老人保健（医療）特別会計が廃止となることに伴い、精算のため一般会計に繰出しをする必要があるため。	〃
第41号	専決処分について	道路排水施設等共同施工負担金において繰越明許費の設定が必要になったため。	〃
第42号	専決処分について	子ども手当の支給に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、オンライン結合をすることができる業務の読替規定を整理する必要があるため。	〃
第43号	専決処分について	地方税法の一部改正に伴い東日本大震災に係る雑損控除額等の特例の規定を整備する必要があるため。	〃
第44号	平成23年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ99億2,133万1千円とする。	全員賛成・可決
第45号	監査委員の選任について	国分寺市監査委員の任期満了に伴い、後任に木島たかし氏を選任する。	全員賛成・同意

第2回定例会議案審議結果

第2回定例会には新規9件の議案が提出され、可決9件となりました。

議案番号	議案名	議案の要旨	結果
委員会提出議案第3号	国分寺市議会会議規則の一部を改正する規則について	議会運営上、必要がある。	全員賛成・可決
第46号	国分寺市職員定数条例の一部を改正する条例について	職員の定数を改定するため。	賛成多数・可決
第47号	国分寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	特別職の職員で非常勤のものの報酬のうち、月額制及び年額制のものについて、月の途中で就任し、又は退任した場合に日割計算により支給するため。	全員賛成・可決
第48号	社会福祉法人に対する助成に関する条例の一部を改正する条例について	社会福祉法人国立保育会が行う保育所の新設事業を新たに助成の対象とするため。	〃
第49号	国分寺市まちづくり条例の一部を改正する条例について	地方自治法の改正に伴い、文言を整理するため。	賛成多数・可決
第50号	平成23年度国分寺市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ393億6,464万6千円とする。	〃
第51号	平成23年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ35億7,072万9千円とする。	〃
第52号	財産の譲渡について	民地内に設置した雨水浸透ますを使用者に譲渡することにより、適正な維持管理を図るため。	全員賛成・可決
第53号	平成23年度国分寺市一般会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ393億7,241万8千円とする。	〃

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況

議案名	議員名	自民党新政クラブ					公明党				政策			共産党		ネット			無党派						
		楠井まこと	田中政義	本橋たくみ	新海栄一	井沢邦夫	須崎宏	高橋りょう子	さの久美子	なのおの克	木島たかし	皆川りうこ	木村徳	三葛敦志	及川妙子	幸野おさむ	岡部宏章	中山ごう	片畑智子	高瀬かおる	岩永康代	釜我健二	甲斐よしと	おざわ脩	いとう太郎
議案第46号 国分寺市職員定数条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号 国分寺市まちづくり条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号 平成23年度国分寺市一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	長	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	
議案第51号 平成23年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	退	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	

・表決（○=賛成 ×=反対 退=退席）
 ・党派名（政策=政策民主会議国分寺、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク）

閉会中の委員会開催予定
委員会はどこでも傍聴できます。

平成23年第3回定例会までの間に開催する委員会は下記のとおりです。

- 平成23年8月2日（火） 総務委員会
- 8月3日（水） 文教委員会
- 8月4日（木） 建設環境委員会
- 8月9日（火） 国分寺駅周辺整備特別委員会
- 8月16日（火） 厚生委員会
- 8月17日（水） ごみ対策特別委員会
- 8月30日（火） 議会運営委員会 代表者会議

※委員会は市役所第1庁舎3階第2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。 議事担当（内468）

次の定例会開催予定
議会はどなたでも傍聴できます。

平成23年第3回定例会は、9月1日（木）から開会の予定です。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。 議事担当（内468）

請願・陳情の提出について
請願・陳情はどこでも提出できます。

平成23年第3回定例会（9月1日開会予定）からの審査を希望する方は、8月12日（金）までに提出してください。

※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。 調査担当（内581）

議員選出監査委員は木島議員に



木島たかし議員
（監査委員）

5月26日開催の第1回臨時会において、議員選出監査委員に木島たかし議員（公明党、2期目）を選任する議案が提出され、全員賛成で同意しました。



1. 国分寺市議会議員名簿

議長・副議長		議長=井沢 邦夫、副議長=木村 徳				
	氏名	住所	電話番号	常任委員会	特別委員会等	所属党派名
1	釜 我 健 二	戸倉1-12-9	324-0302	総務	○ごみ特	☆無(社民)
2	甲 斐 よしと	新町1-19-20	325-1942	厚生	駅特	無(無所属)
3	皆 川 りうこ	東恋ヶ窪6-7-31	324-4442	建設	◎ごみ特	☆政 策
4	木 村 徳	本町4-14-3-101	401-8878	総務	駅特	政 策
5	おざわ 脩	戸倉3-17-5	502-8765	文教	ごみ特	無(みんな)
6	いとう 太郎	西町3-32-6 BELISTA国立305	501-5506	○建設	駅特・議運	無(みんな)
7	幸野 おさむ	本多1-4-20 ベルハイム202号	324-0588	◎総務	駅特・○議運	☆共 産 党
8	岡部 宏 章	東元町4-16-13 グランシャリオ I 番館303	322-5880	厚生	駅特	共 産 党
9	三 葛 敦 志	西町1-26-2 国立ロイヤルマンション403	574-7160	◎厚生	ごみ特・議運	政 策
10	及 川 妙 子	泉町3-32-5	321-1665	○文教	駅特	政 策
11	楠 井 まこと	西町2-30-11 メビウスプラザII-103	502-6660	建設	ごみ特	自 民 党
12	田 中 政 義	北町1-7-3	323-1775	○総務	駅特・議運	自 民 党
13	中 山 ご う	西恋ヶ窪1-12-41	208-3644	建設	ごみ特	共 産 党
14	片 畑 智 子	西恋ヶ窪4-24-2	359-0468	総務	○駅特・◎議運	☆ネ ッ ト
15	高 橋 りょう子	北町4-8-14	321-7818	◎文教	ごみ特・議運	公 明 党
16	さ の 久美子	西恋ヶ窪1-9-84	321-6830	◎建設	ごみ特	公 明 党
17	本 橋 たくみ	戸倉2-27-3	580-4720	建設	駅特	自 民 党
18	新 海 栄 一	本多1-6-6 藤和シティコープ国分寺701号	321-0289	○厚生	◎駅特・議運	☆自 民 党
19	高 瀬 かおる	新町2-4-83	301-2483	厚生	ごみ特・議運	ネ ッ ト
20	岩 永 康 代	東恋ヶ窪3-14-7	304-3618	文教	ごみ特	ネ ッ ト
21	なおの 克	東恋ヶ窪3-20-9 グランブラド国分寺525	329-4369	厚生	駅特	公 明 党
22	木 島 たかし	西元町2-13-19 ライオンズマンション西国分寺102号	327-7110	総務	駅特	☆公 明 党
23	井 沢 邦 夫	東恋ヶ窪4-20-1	323-8183	(議 長)		自 民 党
24	須 崎 宏	東元町4-13-9	321-0423	文教	ごみ特	自 民 党

常任委員会名(建設=建設環境委員会) 特別委員会等名(駅特=国分寺駅周辺整備特別委員会、ごみ特=ごみ対策特別委員会、議運=議会運営委員会)
◎=委員長、○=副委員長
党派名(自民党=自民党新政クラブ、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、共産党=日本共産党国分寺市議団、政策=政策民主会議国分寺、無(社民)=無会派(社民党)、無(無所属)=無会派(無所属)、無(みんな)=無会派(みんなの党)) / ☆=会派代表 無会派議員の場合は代表者会議での無会派代表

2. 常任・特別委員会委員等名簿

委員会等名	委員名(◎委員長、○副委員長)	所 管 事 務
議会運営委員会	◎ 片 畑 智 子、いとう 太郎、新 海 栄 一 ○ 幸野 おさむ、高 橋 りょう子、田 中 政 義 三 葛 敦 志、高 瀬 かおる	議事、議会運営、議会だよりに関する事項
常任委員会	◎ 幸野 おさむ、釜 我 健 二、木 村 徳 ○ 田 中 政 義、片 畑 智 子、木 島 たかし	政策部、総務部、市民生活部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の所管に属さない事項
	◎ 三 葛 敦 志、甲 斐 よしと、岡部 宏 章 ○ 新 海 栄 一、高 瀬 かおる、なおの 克	福祉保健部、子ども福祉部の所管に属する事項
	◎ さ の 久美子、皆 川 りうこ、楠 井 まこと ○ いとう 太郎、中 山 ご う、本 橋 たくみ	環境部、都市建設部、都市開発部の所管に属する事項
	◎ 高 橋 りょう子、おざわ 脩、岩 永 康 代 ○ 及 川 妙 子、須 崎 宏	教育委員会の所管に属する事項
特別委員会	◎ 新 海 栄 一、甲 斐 よしと、木 島 たかし ○ 片 畑 智 子、岡部 宏 章、いとう 太郎 なおの 克、田 中 政 義 木 村 徳、幸野 おさむ 及 川 妙 子、本 橋 たくみ	国分寺駅周辺市街地の再開発整備等に関する調査及び対策
	◎ 皆 川 りう子、おざわ 脩、楠 井 まこと ○ 釜 我 健 二、高 橋 りょう子、高 瀬 かおる 須 崎 宏、中 山 ご う 三 葛 敦 志、岩 永 康 代 さ の 久美子	ごみの減量、リサイクル及び清掃施設等のごみ問題に関する調査及び対策
代表者会議	(議長)井沢 邦夫、釜 我 健 二、木 島 たかし (副議長)木村 徳、新 海 栄 一、幸野 おさむ 皆 川 りうこ、片 畑 智 子	議会内人事、議会費、議員研修に関する事項、その他議長が特に必要と認める事項

このほか、一般会計及び土地取得特別会計の補正予算を審査する「補正予算審査特別委員会」、翌年度の予算を審査する「予算特別委員会」、前年度の決算を審査する「決算特別委員会」を必要に応じて設置します。

3. 一部事務組合議会その他の委員会委員等名簿

名称及び役職	委員等氏名
東京都11市競輪事業組合議会議員	須崎 宏・釜 我 健 二
東京都4市競艇事業組合議会議員	須崎 宏・釜 我 健 二
東京たま広域資源循環組合議会議員	木村 徳
東京都国分寺市土地開発公社監事	皆川 りうこ
国分寺市都市計画審議会委員	いとう太郎・中山 ご う・新 海 栄 一・及 川 妙 子・さ の 久美子・高 瀬 かおる
国分寺市健康福祉サービス協会評議員	幸野 おさむ・三 葛 敦 志
三鷹・立川間立体化複々線促進協議会委員	さ の 久美子
国分寺市民生委員推せん会委員	三 葛 敦 志・岡部 宏 章
三多摩上下水及び道路建設促進協議会委員	第一委員会(上水道) 中 山 ご う・第二委員会(下水道) 本 橋 たくみ 第三委員会(道路) 楠 井 まこと
国分寺市青少年問題協議会委員	岩 永 康 代・及 川 妙 子
スポーツ祭東京2013国分寺市実行委員会	井 沢 邦 夫・木 村 徳・岩 永 康 代・及 川 妙 子 おざわ 脩・須 崎 宏・高 橋 りょう子
東京河川改修促進連盟委員	全 議 員